

科目名	高齢者の外傷予防					
分野	専門分野	担当教員	宮村 由紀子			
開講時期	3学年 3学期	単位数	講義	実技	演習	実習
時間数	15		1			
科目の概要	日本は超高齢社会を迎えており医療や介護資源の枯渇が問題視されている。特に高齢者の外傷は認知・運動能力の低下に伴うロコモティブシンドロームによってリスクが上昇する「転倒」に起因することが多い。高齢者の認知・運動能力低下の要因と対応に必要な知識と技術、さらに、現代日本における社会的取り組みを学ぶことで、「高齢者の転倒」に伴う外傷を予防し、高齢者の生活の質を向上させ、継続可能な社会を構築していくための柔道整復師の役割を自覚し、臨床につなげていくための基本事項を学習していく。					
学習の到達目標	高齢者の機能低下とその要因を把握し、機能低下に伴う転倒とそれに伴う外傷を予防するための具体的方法を習得すること。					
成績評価の方法と基準	レポート					
使用テキスト	『生理学』、『運動学』、『リハビリテーション医学』、『柔道整復師と機能訓練指導』、『競技者の外傷予防』ほか					
参考文献						
実務経験を有する者	○					
講義計画	講義内容					
1	高齢者の機能低下①:細胞・組織の加齢現象、高齢者の生理的特徴					
2	高齢者の機能低下②: 高齢者の生理的特徴、運動と加齢					
3	ロコモティブシンドローム					
4	高齢者の障害予防①: 高齢者の外傷予防の知識					
5	高齢者の障害予防②: 高齢者の外傷予防の手順					
6	高齢者の障害予防③: 高齢者の外傷予防訓練					
7	高齢者の外傷予防 実践					
8	総合評価(まとめ)					

(2026年度)